

平成24年2月14日

平成23年度世界メディア芸術コンベンションの開催について

このたび、文化庁では、「想像力の共有地^{コモンズ}—現代社会はマンガとアニメーションによって何を共有しうるのか」と題して平成23年度世界メディア芸術コンベンションを開催することとなりましたので、お知らせします。

1. 開催概要

世界のメディア芸術関係者等との交流の推進と我が国におけるメディア芸術の発信のために、海外からメディア芸術の研究者等を我が国に招へいし、対話しながら我が国の今後のメディア芸術を考える重要なきっかけとなることを目的とする。

- ・日時：平成24年3月3日（土）13：30～18：00
3月4日（日）13：30～18：30
- ・会場：政策研究大学院大学 想海樓ホール（〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1）
- ・テーマ：「想像力の共有地^{コモンズ}—現代社会はマンガとアニメーションによって何を共有しうるのか」
- ・プログラム：別紙参照
- ・モデレーター：吉岡 洋（京都大学大学院文学研究科教授）
- ・発表者：エスター・レスリー（ロンドン大学バークベックカレッジ教授）、キム・ジュニアン（韓国芸術総合学校講師）ほか、全7名
- ・使用言語：日本語及び英語（同時通訳）
- ・主催：文化庁

<コンベンションの内容に関する問い合わせ先>

世界メディア芸術コンベンション開催事務局（株式会社富士通総研内）辻、根本、石田

TEL：03-5401-8396 FAX：03-5401-8439

e-mail：fri-icomag@cs.jp.fujitsu.com

【裏面あり】

【本件担当】

文化庁文化部芸術文化課

課長 舟橋 徹（内線 2822）

支援推進室長補佐 土居 孝一（内線 2062）

メディア芸術交流係長 片桐由紀子（内線 3031）

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-3031（直通）

2. 傍聴・公開について

- ・傍聴を希望される方は、お手数ですが2月29日（水）15時までに、氏名・所属・連絡先を明記の上、事務局あて fri-icomag@cs.jp.fujitsu.com まで e-mail にて必ず事前にご登録をお願いします。なお、席に限りがありますので、傍聴を希望される方が多数の場合には、傍聴を制限する場合があります。また、傍聴制限を要するなどの場合を除き、返信はいたしません。あらかじめご了承ください。
- ・カメラ撮りを希望の場合は、その旨上記の傍聴登録にあわせて必ず事前にご登録いただくとともに、会場においては事務局からの指示に従ってください。フラッシュの使用は、ご遠慮頂く場合がございます。

※詳細については、表面記載の世界メディア芸術コンベンション開催事務局（株式会社富士通総研）あてにお問い合わせください。

ICOMAG2012 COMMONS of IMAGINATION

— What Today's Society Can Share through Manga and Animation

想像力の共有地^{コモンズ} — 現代社会はマンガとアニメーションによって何を共有しうるのか

Second International Convention on Manga, Animation, Game and Media Art [ICOMAG] 2012

文化庁の委託事業「世界メディア芸術コンベンション 2012」では、昨年に引き続いて、美学及び記号学などの分野で活躍されている京都大学大学院の吉岡洋教授を座長として、世界各国より、マンガとアニメーションの研究者、クリエイター、キュレーターの方をお迎えして、現代社会とマンガ／アニメーションについて様々な角度から議論していただくことになりました。「想像力の共有地(コモンズ)」というテーマで、2日間にわたって、マンガやアニメーションなど日本文化が広く世界各国で受け入れられている要因、そして、日本文化を通して共有しうるものなどを議論し、そこから「メディア芸術」が持つ未来的な文化モデルを探求していきます。

開催概要

開催日 平成24年3月3日[土]・4日[日]
場 所 政策研究大学院大学 想海樓ホール（東京都港区 国立新美術館となり）
言 語 日本語・英語(同時通訳付き)
定 員 300名(入場無料)事前登録制
主 催 文化庁

プログラム ※プログラム・パネリストは予告なしに変更する場合があります。

3月3日[土] 13:30-18:00

オープニングセッション1 想像力を共有するとは？

座長：吉岡洋 京都大学大学院文学研究科教授(美学芸術学・情報文化論)

セッション1 アニメーションと現代文化

キーノート1：エスター・レスリー[英国] ロンドン大学バークベックカレッジ教授(政治美学)

コメンテーター：加治屋健司 広島市立大学芸術学部准教授(表象文化論)

パネリスト：門林岳史 関西大学文学部准教授(メディア論・表象文化論)

モデレーター：佐藤守弘 京都精華大学デザイン学部准教授(芸術学・視覚文化)

セッション2 日本文化を活性化^{アニメート}する：コンテンツとコンテクスト

発表1：キム・ジュニアン[韓国] 韓国芸術総合学校講師(アニメーション研究)

発表2：マーク・スタインバーグ[カナダ] コンコルディア大学准教授(視覚文化論)

コメンテーター：佐野明子 桃山学院大学国際教養学部専任講師(アニメーション研究)

モデレーター：岡本美津子 東京藝術大学大学院映像研究科教授(制作プロデュース)

3月4日[日] 13:30-18:30

セッション3 ある日本大衆文化の形成：戦後日本社会におけるマンガとアニメーション

キーノート2：小熊英二 慶應義塾大学総合政策学部教授(歴史社会学)

コメンテーター：ライアン・ホームバーク 学習院大学・日本学術振興会特別研究員(日本美術史・マンガ史)

パネリスト：石田美紀 新潟大学人文学部准教授(美術史)

セッション4 想像力の視覚化

発表3：グンヒル・ボーグレン[デンマーク] コペンハーゲン大学准教授(視覚文化・日本現代美術)

コメンテーター：長池一美 大分大学国際教育研究センター准教授(比較文学)

セッション5 「共有地^{コモンズ}」としてのマンガ

発表4：テヴィニタ・ララサティ[インドネシア] バンドン工科大学芸術デザイン学部准教授(マンガ作家・編集者)

発表5：ジャクリーヌ・ベルント[ドイツ] 京都精華大学マンガ学部教授(マンガ理論)

コメンテーター：高橋瑞木 水戸芸術館現在美術センター学芸員

モデレーター：加治屋健司

全体統括パネルディスカッション

モデレーター：吉岡洋

◆プログラム及び発表者、テーマの詳細は以下の Web サイトをご参照ください。
ICOMAG2012 Web サイト <http://www.simul-conf.com/icomag2012/>

◆参加のお申込みを希望される方は、お手数ですが、2月29日(水)15時までに e-mailにて必ず事前にご登録をお願いいたします。氏名・所属・連絡先を明記の上、事務局あて fri-icomag@cs.jp.fujitsu.com までご登録をお願いします。参加申込みのない方のカメラ撮り等はお断り申し上げます場合がございます。カメラ撮りをご希望の場合は、その旨、事前に必ずご登録いただくとともに、会場においては事務局からの指示に従ってください。フラッシュの使用等は、ご遠慮いただく場合がございます。(詳細については下記事務局あてにお問い合わせください。)

◆内容に関するお問合せ:世界メディア芸術コンベンション開催事務局 (株式会社富士通総研内)
〒105-0022 東京都港区海岸 1-11-1 ニューピア竹芝ノスタワ 9 階
Tel:03-5401-8396 Fax:03-5401-8439 (担当:辻、根本、石田)
Mail:fri-icomag@cs.jp.fujitsu.com